

Oh! すみ

感動! 大隅・鹿児島

ツーリング

潮風を感じて海沿いを走る。

木漏れ日の中、山間を駆け抜ける。

エンジン音にかき消されたはずの

波や川のせせらぎを感じながら大隅を疾走する。

目的なんてなくていい。

ここには絶景も、おいしいものも

いくらでもあるから。





ひとまず、本土最南端へ向かってみるか。
 そんな感じで始まったはずなのに
 いつの間にか大隅の魅力にハマっていく。

午前9時前、志布志港にさんふらわあが着岸。いよいよ始まるツーリングに備えて、昨夜は早めに床に就いてとても調子がいい。愛車も小気味いいエンジン音で、「早く走りたい。」と訴えているようだ。

夏のツーリングは他の季節とはちょっと違う。焼け付く太陽の光のなか、まるで風になったような気分でバイクと一体になれる。港を出て海沿いを走る。なんだ、この美しい海の色は！しばらく走ると「くの松原」という海岸が見えてきた。松林が続く先にはキャンプ場があり、夏場なのに少しひんやりしていて潮の香りが心地いい。

ロケット打上射場の内之浦の観測所までは

山道が多い。走り続けると大きなアンテナが見えてくる。それだけでワクワクする。見学を終えて観測所をあとにして、左手に海を見ながらひたすら海岸線を走る。海がキラキラしている。本当に気持ちいい道。白砂が美しい岸良海岸を通り過ぎ、そこから西に向かう。山間の道を進むと石畳の美しい花瀬川が見えてくる。あまりに透明な水に引き込まれるように、裸足になり浸かってみる。ひんやり気持ちいい。後ろ髪を引かれながら、さらに南へ。途中、何度もネットで見た雄川の滝や、開聞岳、桜島も拝める城ヶ崎展望所への道があったが、とにかく本土最南端へ向かうことを優先。海が見

桜島

佐多岬



oh! ツーリング

oh! ツーリング



内之浦宇宙空間観測所

Road to Satamisaki

志布志港～佐多岬 113.4km

えてきた。ひたすら走る。対岸にある薩摩半島南端の稜線が美しい開聞岳を横目に走り続け、国立公園の入口らしいゲートを抜けて、岩場の道を進んでいくと佐多岬入口の駐車場に着いた。そこから歩いた先の佐多岬の想像以上の美しさで長旅の疲れを癒してくれる。

最南端へたどり着いた達成感とともに、これまでの道のりを振り返る。いつの間にか時間が経っているような、どれもこれも気持ちいい感動をもらえた。まだ見ぬ雄川の滝は、また今度。バイクの長旅でお尻が少し痛い。帰りは根占港からフェリーで薩摩半島へ、少しだけラクをしたくなった。



くの松原にも立ち寄ってみた



通り過ぎる海のどれも美しい



開聞岳が浮かぶように見える



佐多岬 整備された遊歩道



Road to Mizonokuchi cave from Sakurajima

桜島港～溝ノ口洞穴
101.3km



垂水フェリー

薩摩半島の鴨池港と大隅半島の垂水港を40分で結ぶ。



猿ヶ城溪谷

キャンプやキャニオニングも楽しめる川遊びが充実している。

© K.P.V.B



ユクサおおすみ海の学校

海を眺めながらキャンプを楽しむ。廃校舎をリノベしてきた施設。



かのやばら園

100万本のバラをはじめ、季節の花々を楽しむ公園。



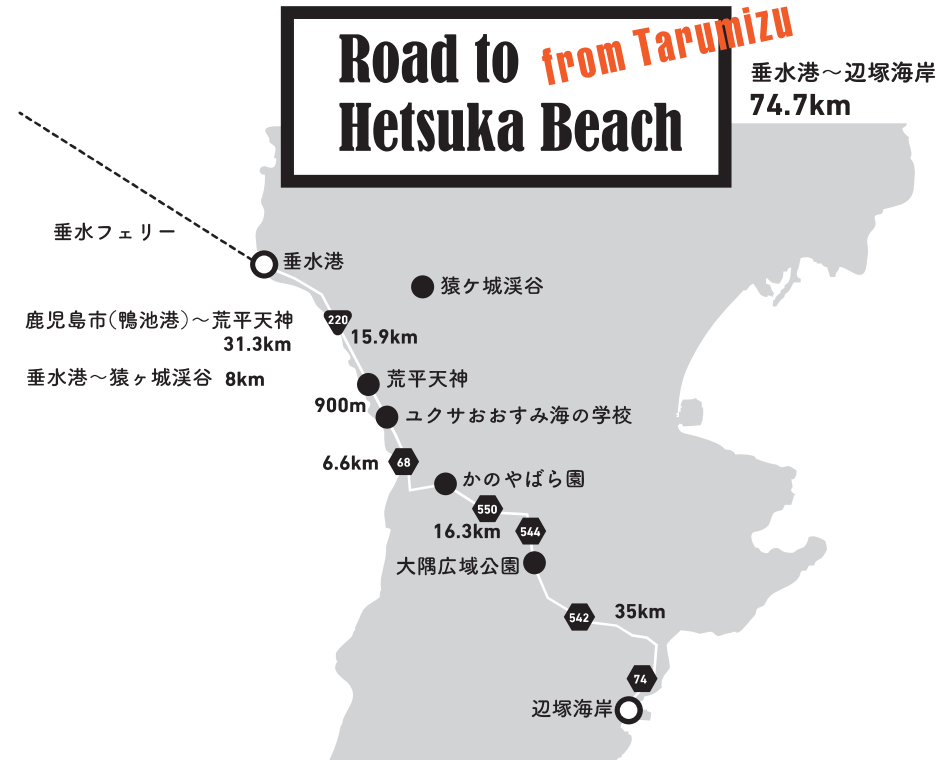
大隅広域公園

キャンプ場、室内スポーツ施設を備え、本格的なカートも楽しめる総合公園



辺塚海岸(絶景5)

とにかく美しい。一見の価値あり。※遊泳禁止



Road to Hetsuka Beach from Tarumizu

垂水港～辺塚海岸
74.7km



桜島フェリー

鹿児島～桜島を日中はほぼ15分おきに出ていて大隅に渡る利用客も多い。



千本イチョウ園

園主が作り上げた景観。11月下旬から12月上旬は黄色に染まり壮観。垂水を一望できる。

© K.P.V.B



高峠つつじヶ丘公園

4月下旬から5月初旬は、満開のつつじが丘全体をピンクに染める。

© K.P.V.B



大隅湖

大隅最大の湖。カヌーやバス釣りなど楽しむ人も多い。



輝北うわば公園(絶景7)

エリアには天球館もあり、キャンプや天体観測を楽しむ高台。



溝ノ口洞穴(絶景10)

森の中、鳥居を潜るその先に洞穴。木々から光が差し込む時はとても神秘的。

道中で目にした
印象的なスパ。



鹿屋をはじめ、あちこちに
美味しそうなパン屋さんが
点在している。



走っているとよく川を
見かけるが、どの川も
本当に水が綺麗。



曾於の街には
弥五郎どんがあちこちに。
弥五郎どん愛を感じる。



Oh! 鹿

ツーリングで 見つけた大隅

大したことじゃないかもしれないけど
バイク旅で気づいたものをピックアップ。

大人も楽しめるアスレチックが
弥五郎伝説の里の隣にあって
時間を忘れる楽しさがある。



野生の猿も生息していて
遭遇することも。
餌は与えないでくださいね。



黒豚も黒牛も美味しそう。
お店の前の炭火の香りだけで
つつい食べたくなる。



人里離れた場所にポツンと
気になるお店の出現率が
とても高い印象。



大隅半島を横断する
内之浦～田代間のルートは
もう本当に海と山しかない道が多く
とても気持ちよく走れる。



気候の影響ももちろんだろうが、
あちこちに亜熱帯植物が多く
南国気分を満喫できる。



もののついでに、もうひとつ。
椰子の木が沿道にある率、
高くないですか？

